

公立大学法人公立千歳科学技術大学  
第1期中期目標期間業務実績評価書

小項目別評価  
(様式例)

抜粋

令和7年 月

千歳市公立大学法人評価委員会



## 目次

	P	(2) 安全衛生及び危機管理に関する目標を達成するための措置	44
第1期中期目標期間の業務実績に係る小項目別評価について	2	(3) 施設・設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置	46
第1期中期目標期間の業務実績に係る項目別評価結果一覧	2	9 中期目標期間において達成すべき数値的目標	47
小項目別評価	2	1 0 予算(人件費を含む)、収支計画及び資金計画	48
2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	2	1 1 短期借入金の限度額	48
(1) 学生の受入れに関する目標を達成するための措置	2	1 2 出資等に係る不要財産の処分に関する計画	48
(2) 教育に関する目標を達成するための措置	5	1 3 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	48
(3) 研究に関する目標を達成するための措置	12	1 4 剰余金の使途	48
(4) 学生及び卒業生への支援に関する目標を達成するための措置	15	1 5 公立大学法人公立千歳科学技術大学の業務運営並びに財務及び	
3 地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	19	会計に関する規則で定める事項	48
(1) 地域の知の拠点としての取組に関する目標を達成するための措置	19		
(2) 産業の振興に関する目標を達成するための措置	23		
(3) 教育機関との連携に関する目標を達成するための措置	25		
(4) 地域での学生の活躍に関する目標を達成するための措置	27		
4 国際交流に関する目標を達成するための措置	29		
(1) 学生の海外機関との連携に関する目標を達成するための措置	29		
(2) 教職員の海外機関との連携に関する目標を達成するための措置	29		
5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	31		
(1) 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	31		
(2) 事務等の効率化及び合理化に関する目標を達成するための措置	33		
(3) 人事制度と人材育成に関する目標を達成するための措置	35		
6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	37		
(1) 自己収入の確保に関する目標を達成するための措置	37		
(2) 経費節減に関する目標を達成するための措置	39		
7 自己点検、評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	40		
(1) 評価に関する目標を達成するための措置	40		
(2) 情報公開及び広報活動に関する目標を達成するための措置	40		
8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	42		
(1) 法令遵守及び人権の尊重に関する目標を達成するための措置	42		

■第1期中期目標期間の業務実績に係る小項目別評価について

公立大学法人公立千歳科学技術大学が行った自己点検・評価のうち、小項目別評価について、評価委員会において妥当性を検討し、分析評価を行った。

※公立大学法人公立千歳科学技術大学の中期目標期間評価実施要領（抜粋）

2 法人による自己点検・評価

(1) 小項目別評価

－地方独立行政法人法第78条の2第1項第2号に定める評価－

法人は、中期計画の記載項目（小項目）及び指標ごとに、中期目標の期間の業務の実績を明らかにするとともに、以下の4段階により自己評価する。

評価	定義
A	中期計画の達成状況が良好である。
B	中期計画の達成状況がおおむね良好である。
C	中期計画の達成状況がやや不十分である。
D	中期計画の達成状況が著しく不十分であり、重大な改善事項がある。

■第1期中期目標期間の業務実績に係る項目別評価結果一覧

(単位：件)

項目名	評価	A		B		C		D	
		小項目	指標	小項目	指標	小項目	指標	小項目	指標
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	評価委員会	10	3	28	7	0	0	0	0
	法人	9	3	29	7	0	0	0	0
地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	評価委員会	2	9	14	1	0	0	0	0
	法人	1	9	15	1	0	0	0	0
国際交流に関する目標を達成するための措置	評価委員会	2	2	2	0	0	0	0	0
	法人	2	2	2	0	0	0	0	0
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	評価委員会	2	3	15	1	0	0	0	0
	法人	2	3	15	1	0	0	0	0
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	評価委員会	1	3	9	1	0	0	0	0
	法人	1	3	9	1	0	0	0	0
自己点検、評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	評価委員会	0	2	5	0	0	0	0	0
	法人	0	2	5	0	0	0	0	0
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	評価委員会	1	2	10	5	0	0	0	0
	法人	1	2	10	5	0	0	0	0

中期目標	中期計画	番号	法人による自己点検・評価			評価委員会調査・分析				
			令和元年度から令和6年度までの業務の実績			年度	中期	評価委員会 意見等	年度	中期
4 国際交流に関する目標										
4 国際交流に関する目標を達成するための措置										
(1) 学生の海外機関との連携に関する目標										
恒常的な学生の海外派遣及び留学生の受入れを可能にするため、組織体制や環境の整備に向けた取組を推進するとともに、海外大学等との連携を強化し、学生の交流実績拡大を目指す。	(1) 学生の海外機関との連携に関する目標を達成するための措置	53	ア 教職員、特に関係業務を担当する事務職員の英語力の向上を目指したFD* <sup>26</sup> /SD* <sup>25</sup> 活動を行う。			R1	B	A	R1	B
	○令和元年度は、事務職員の英語力向上について、どのような取組が有効か検討した結果、本学の英語講師による講義形式のSDを実施することとなり、令和2年度以降は全職員を対象とした講義形式の英語のSDを実施することを決定した。 ○令和2年度は、事務職員の英語力向上に向けた研修を令和3年3月4日にオンラインで開催した。全職員を受講対象者とした講義形式の英語SDを実施することとしていたが、1月に留学生・社会人受入れ検討ワーキンググループを設置したことから、より実践的な英語力向上を目指し、担当課から1名ずつの参加とする計4名で実施した。 ○令和3年度は、学生支援を行う部署の職員を対象に、令和4年1月7日及び11日の2日間の日程で、オンラインにより計4回の研修を行った。その内容は「留学生が入学したことを想定した窓口での対応等について」として、本学外国人講師とのコミュニケーションを重視した形式で実施した。 ○令和4年度は、事務職員の英語力向上を図る研修については、北海道大学大学院教育推進機構 高等教育研修センターが主催する「実用英会話（業務英会話）集中研修」に2名の事務職員が参加した。 ○研修内容は英語での電話対応の基本表現など、想定される状況を基にした実践的な内容となっており、英語によるコミュニケーション力の向上を図った。 ○令和5年度は、FD活動を行うとともに、事務職員の英語力向上を図るため、北海道大学大学院教育推進機構 高等教育研修センター主催の英会話研修「大学教職員のための業務用実用英会話集中研修」に、職員1名を複数回派遣した。 ○令和6年度は、・・・。			R2	B	R2	B			
	○令和4年度は、事務職員の英語力向上を図る研修については、北海道大学大学院教育推進機構 高等教育研修センターが主催する「実用英会話（業務英会話）集中研修」に2名の事務職員が参加した。 ○研修内容は英語での電話対応の基本表現など、想定される状況を基にした実践的な内容となっており、英語によるコミュニケーション力の向上を図った。 ○令和5年度は、FD活動を行うとともに、事務職員の英語力向上を図るため、北海道大学大学院教育推進機構 高等教育研修センター主催の英会話研修「大学教職員のための業務用実用英会話集中研修」に、職員1名を複数回派遣した。 ○令和6年度は、・・・。			R3	A	R3	A			
イ 市内及び近隣の関係機関と連携し、留学生に関する情報交換・情報共有を行う。			R4	B	R4	A				
○令和元年度は、令和2年2月19日に千歳国際交流協会と意見交換を行い、同協会から国際交流に資する取組や留学生に対して経済的な支援を受けられることが判明した。また、本学留学生が通訳ボランティアや各種イベントに参加し、地域の方々との交流する機会があること、さらには留学生の活躍の場に関する情報があることから、令和2年度には同協会に加盟することとした。 ○令和2年度は、千歳国際交流協会に加盟し、8月18日に意見交換を行い、留学生に関する情報や学生が参加できるイベント等の情報を収集した。また同協会から、国際交流講座の情報を得ることができた。 ○令和3年度は、千歳国際交流協会と留学生に関する意見交換を1回実施するとともに、随時、問合せなども行った。 ○令和4年度は、千歳国際交流協会と12月9日に協議を行い、本学の学生が参加できる海外交流事業や本学の学生が利用できる留学に関する助成事業について、情報収集を行った。 ○千歳市から留学生の受入れに関するホームステイなどについて情報収集し、1月に留学生1名を受入れた。 ○令和5年度は、北海道総合政策部国際局国際課と留学支援事業による「ほっかいどう未来チャレンジ基金」について、意見交換を行った。 ○令和6年度は、・・・。			R5	A	-	-				
○令和5年度は、北海道総合政策部国際局国際課と留学支援事業による「ほっかいどう未来チャレンジ基金」について、意見交換を行った。 ○令和6年度は、・・・。			R6	A	-	-				
【指標】 (1) -1 提携大学数を本中期計画期間中に5大学以上にする。			⑳	提携大学数			R1	B	R1	B
				H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
				3校	3校	3校	4校	7校	9校	校
○ポツダム大学、湖南大学校、全南大学校のほか、令和3年11月にフィリピン大学と協定を締結した。 ○令和4年度は、アユタヤ地域総合大学、タイ-日工業大学、シドニー工科大学と連携協定を締結し、中期計画期間中の提携大学数「5大学以上」を達成した。 ○令和5年度は、プリンス・オブ・ソクラ大学、モンクット王工科大学ラカバン校と協定を締結した。 ○令和6年度は、・・・。				R2	B	R2	B			
				R3	A	R3	A			
				R4	A	R4	A			
			R5	A	-	-				
			R6	A	-	-				

10 予算(人件費を含む)、収支計画及び資金計画

(1) 予算及び実績

(単位：百万円)

区分	予算	実績	計画-実績
収入	11,816		
運営費交付金	5,448		
補助金(千歳市補助金)	2,153		
自己収入	3,981		
授業料等及び入学検定料収入	3,765		
雑収入	216		
受託研究等収入	162		
寄附金収入	72		
支出	11,816		
業務費	9,501		
教育研究経費	3,353		
人件費	5,015		
一般管理費	1,133		
受託研究費等	162		
施設設備整備事業費	2,153		

(2) 収支計画

(単位：百万円)

区分	予算	実績	計画-実績
費用の部			
経常費用	10,480		
業務費	8,326		
教育研究経費	3,149		
受託研究費等	162		
人件費	5,015		
一般管理費	1,133		
減価償却額	1,021		
収入の部			
経常収益	10,480		
運営費交付金収益	5,244		
補助金収益	0		
袴豪良収益	3,123		
入学金収益	468		
検定料収益	174		
受託研究等収益	162		
寄附金収入	72		
財務収益	0		
雑益	216		
資産見返負債収入	1,021		
純利益	0		
総利益	0		

(3) 資金計画				※中期計画との差異理由 (1) 予算  (2) 収支計画  (3) 資金計画
(単位：百万円)				
区分	予算	実績	計画－実績	
資金支出	12,592			
業務活動により支出	9,459			
投資活動による支出	2,357			
財務活動による支出	0			
次期中期目標期間への繰越金	776			
資金収入	12,592			
業務活動による収入	12,592			
運営費交付金による収入	5,448			
補助金収益による収入	2,153			
授業料等及び入学検定料による収入	3,765			
受託研究等収益による収入	162			
寄附金による収入	848			
その他の収入	216			
投資活動による収入	0			
財務活動による収入	0			

中期計画	令和元年度から令和6年度までの業務の実績
11 短期借入金の限度額	
(1) 限度額 2億円 (2) 想定される理由 事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される	借入れは行わなかった。
12 出資等に係る不要財産の処分に関する計画	
なし	なし
13 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	
なし	なし
14 剰余金の使途	
決算において剰余金が発生した場合は、教育研究の質の向上、組織運営及び施設設備の改善に充てる。	目的積立金取崩の内訳